

平成 25 年 度 事 業 報 告 書

事業の概要

平成 25 年度は、次の事業を実施した。

1. フォーラム「メンタルヘルスの集い(第 28 回日本精神保健会議)」の開催

これまで多くの人々の努力の積み重ねによって、私たちの社会は精神障害のある人が地域のメンバーとして活動することができる場へと徐々に変化してきた。精神障害のある人の地域活動の援助、差別撤廃や雇用促進のための制度整備など、その努力は今も続けられている。しかし、なお多くの問題が未解決のまま残されており、私たちはこれまで以上に知恵を出し、力を合わせてその解消を目指さなければならない。

今回の「メンタルヘルスの集い」では、精神障害のある人が普通に暮らすことができる社会を実現するために、私たちはどうすべきかを考えた。障害のある人々の東日本大震災の体験を描いた映画「生命のことづけ」の上映、愛媛県愛南町で、障害のある人や高齢者が自立して暮らすことのできる街づくりと、精神医療の変革を進める長野敏宏氏の講演、そして障害のある人といっしょに地域活動を実践してきた方々によるシンポジウムを行い、私たちが問題の認識を深め、これからの方向性を確認し、さらなる取り組みを推進していく契機とすべく、下記の内容のフォーラムを実施した。

実施にあたっては林直樹(本会理事)を委員長に、大塚淳子(本会理事)、上別府圭子(本会理事)、増田一世(公益社団法人やどかりの里常務理事)、宮坂勇(NPO 法人全国精神障害者地域生活支援協議会事務局長)の各氏に準備委員を委嘱した。

なお、本フォーラムは「平成 25 年度健康や命を守る医療の活動事業」として公益財団法人 J K A より競輪公益資金の補助を得て実施した。

メンタルヘルスの集い(第 28 回日本精神保健会議)

日 時：平成 26 年 3 月 1 日 10:00~16:00

場 所：有楽町朝日ホール(東京都千代田区有楽町 2-5-1)

テーマ：精神障害のある人の自立支援とこれからの社会

～すべての人にやさしい街づくり～

内 容：映画上映 生命のことづけ

～死亡率 2 倍 障害のある人たちの 3.11～

：特別講演 共に生きる！共に働く

～愛媛県愛南町における「精神科医療の構造変革」と

「生業(なりわい)づくりへの挑戦」～

長野敏宏(公益財団法人正光会御荘病院常務理事・院長)

司会 大塚淳子(公益社団法人日本精神保健福祉士連盟常務理事)

：シンポジウム 精神障害のある人の自立とやさしい街づくり

シンポジスト

大石万里子（南相馬市健康福祉部健康づくり課健康企画係長）

宮崎宏興（NPO 法人いねいぶる 常務理事）

金子 聡（社会福祉法人つくりっこの家事務局長）

指定発言者

佐藤晃一（当事者 公益社団法人やどかりの里）

小笠原勝二（家族 西多摩精神障害者家族会会長）

都祭俊一郎（一般市民 株式会社都祭建築設計事務所）

コーディネーター

林 直樹（公益財団法人日本精神衛生会理事）

上別府圭子（東京大学大学院教授）

総合司会 池田真理（東京大学大学院助教）

参加者：296名

このフォーラムの内容は本会の広報誌「心と社会」156号（平成26年6月発行）に収録する。

2. 精神保健シンポジウムの開催

全国の主要都市において、その地域の大学・精神保健関連団体と共催で、地域が直面する精神保健に関する課題等をテーマにシンポジウムを開催しているが、本年度は下記のとおり実施した。

①第63回精神保健シンポジウム（北九州）

日時：平成25年4月20日 13:00～17:00

会場：黒崎ひびしんホール・中ホール（北九州市八幡西区岸の浦 2-1-1）

共催：産業医科大学医学部精神医学教室（中村純教授）

テーマ：働く人のこころの健康を支えるために

～職場と医療をつなぐ架け橋をめざして～

：シンポジウム「認知症を生きる、支える」

「最近のうつ病と自殺の現状」

中村 純（産業医科大学医学部精神医学教室教授）

「現代の若者は何故にかくも社会的に未熟か」

牛島定信（公益財団法人日本精神衛生会理事長）

「労働安全衛生法一部改正案と心理的負荷による精神障害の認定基準に関して」

黒木宣夫（東邦大学医学部精神神経医学講座(佐倉)教授）

「うつ病を早期発見するための医療者間の連携について」

内村直尚（久留米大学医学部神経精神医学講座教授）

：総合討論

司会 吉村玲児（産業医科大学医学部精神医学教室診療教授）

新開隆弘（産業医科大学医学部精神医学教室准教授）

参加者：98名

記録：このシンポジウムの内容は本会の広報誌「心と社会」153号（平成25年9月17日発行）に収録した。

②第64回精神保健シンポジウム（福島）

日時：平成25年10月23日 13:00～16:30

会場：福島県立医科大学講堂（福島市光が丘1番地）

共催：福島県立医科大学医学部神経精神医学講座（矢部博興教授）

テーマ：福島の再生とメンタルヘルス

内容：基調講演「福島の再生とメンタルヘルス」

丹羽真一（福島県立医科大学会津医療センター特任教授）

シンポジウム

「福島の復興に向けた取り組みについて」

佐竹 浩（福島県庁企画調整部政策監）

「震災・原発事故による困難な状況の県民のこころのケアについて」

増子博文（県民健康管理調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」専門委員会委員、福島県立医科大学医学部神経精神医学講座准教授）

「ふくしま心のケアセンターの活動」

屋田源四郎（ふくしま心のケアセンター所長）

「福島の子どものこころと未来をいかに育むか」

成井香苗（福島県臨床心理士会東日本大震災対策プロジェクト代表、NPO法人福島子どものこころと未来を育む会理事長）

「2年目を迎えた被災地 福島県相双地区の心のケアの今」

米倉一磨（NPO法人相馬広域こころのケアセンターなごみセンター長）

「次の災害にどう備えるか？福島県精神科病院協会の取り組み」

熊倉徹雄（福島県精神科病院協会会長、財団法人金森和心会針生ヶ丘病院院長）

総合討論

司会 矢部博興（福島県立医科大学医学部神経精神医学講座教授）

熊倉徹雄（福島県精神科病院協会会長、財団法人金森和心会針生ヶ丘病院院長）

参加者：88名

記録：このシンポジウムの内容は本会の広報誌「心と社会154号」（平成25年12月16日発行）に収録した。

3. 広報誌「心と社会」の発行

今日の精神保健福祉が直面する重要課題を取り上げるとともに、国内や海外の精神保健福祉に関する最新情報を掲載した広報誌「心と社会」を次のとおり発行した。

なお153号と154号は「平成25年度健康や命を守る医療の活動事業」として公益財団法人JKAより競輪公益資金の補助を得て、各600部を追加発行し関連団体・施設等に配布した。

- | | | |
|--|------|--------|
| ①152号（平成25年6月15日発行） | 168頁 | 2,000部 |
| 特集 メンタルヘルスの集い(第27回日本精神保健会議) | | |
| 「格差社会とメンタルヘルス～忍びよる『貧困』にどう向き合うか!～」 | | |
| ②153号（平成25年9月17日発行） | 138頁 | 2,600部 |
| 特集 第63回精神保健シンポジウム（北九州） | | |
| 「働く人のこころの健康を支えるために
～職場と医療をつなぐ架け橋をめざして～」 | | |
| ③154号（平成25年12月16日発行） | 136頁 | 2,600部 |
| 特集 第64回精神保健シンポジウム（福島） | | |
| 「福島の再生とメンタルヘルス」 | | |
| ④155号（平成26年3月17日発行） | 160頁 | 2,000部 |
| 特集 わが国における精神保健福祉の歩み | | |

4. 精神保健福祉関係冊子の出版

格差とメンタルヘルスに関連した問題を取り上げる「こころの健康シリーズVI格差社会とメンタルヘルス」（B5判8頁）を以下のように発行した。なお、発行後はホームページに掲載し閲覧できるようにした。

- | | |
|------------------------------|--|
| ①No.1 生活困窮者支援とメンタルヘルス | |
| －NPO法人ほっとプラスへの相談事例から考察する－ | |
| NPO法人ほっとプラス 代表 藤田孝典 著 | |
| 平成25年6月発行 3,000部 | |
| ②No.2 過重債務者問題と心理臨床 | |
| 過重債務者問題研究会 主宰 松井正人 著 | |
| 平成25年9月発行 3,000部 | |
| ③No.3 非正規労働(ワーキングプア)とメンタルヘルス | |
| NPO法人POSSE 代表 今野晴貴 著 | |
| 平成25年12月発行 3,000部 | |
| ④No.4 学校メンタルヘルスと教師の役割 | |
| 中越学校メンタルヘルス研究所 井上 恵 著 | |
| 平成26年3月発行 3,000部 | |

平成22年度から平成24年度にかけて発行した小冊子「こころの健

康シリーズV No. 1～No. 12を1冊にまとめた合本「学校とメンタルヘルス」を12月に2,000部発行した。

5. 公益社団法人日本精神保健福祉連盟の一員として国内の精神保健福祉諸団体と協力した。また、広報誌「心と社会」の海外ニュース欄にて世界の精神保健関連情報を紹介した。WFMH日本支部と情報交換を行った。
6. 日本精神保健・予防学会、一般社団法人日本社会精神医学会、公益社団法人日本精神神経学会、日本生物学的精神医学会、日本神経精神薬理学会、一般社団法人日本臨床精神神経薬理学会の学術6団体からなる「精神疾患の予防と早期治療に関する国際会議2014組織員会」と共同で、平成26年11月17日～11月19日に東京で「精神疾患の予防と早期治療に関する国際会議2014」、11月16日に記念市民公開講座を主催する。その費用に充当するため今年度より特別寄附金の募集を開始した。